

④ 図面-3 円山動物園の自然風レインガーデン

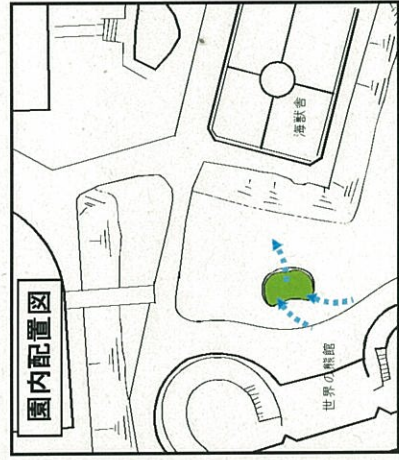
■ タイプ：レインガーデン型

■ 設置年：平成22年

■ 規模：約40㎡

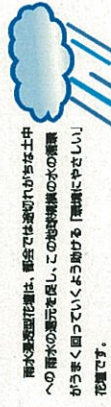
■ 場所：札幌市中央区宮ヶ丘3-1
(円山動物園内芝生広場)

■ 植栽：湿地性の自生種
(産地：石狩中部)



説明板

雨水浸透型花壇
この花壇は、屋根の上を流れる雨水や部分の排水水を地中、地下に浸透させる機能を持っています。花壇の土や植物は、水をためこみ、地中に蓄え、徐々に地下にしみ込み、やがて川へ海へと流れていきます。この水の地下にしみ込み、やがて川へ海へと流れて、空気に蒸発し、また再び雲となって降ってくるのです。



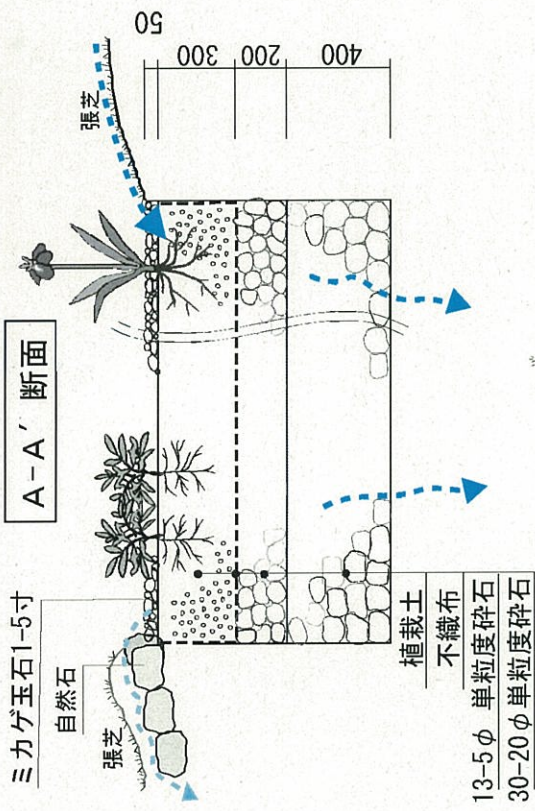
雨水浸透型花壇は、庭先では受けがちな土中への雨水の溜りを見、この地味緑の水の循環がうまく回っていくように助ける「蓄水池にやさしい」花壇です。

自生種の花壇
花壇の植物はすべて、北海道の山野から採集しているものです。石狩地方の自生種を用いることで、自然にもやさしい花壇となっております。

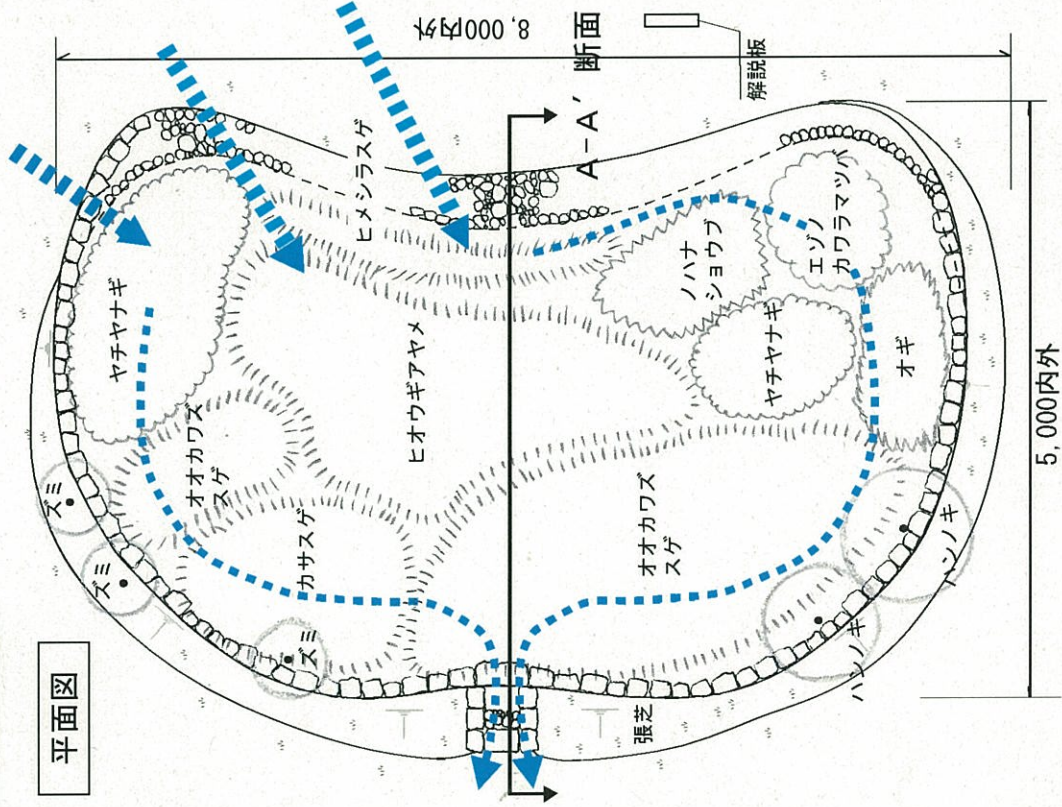
特徴

- ・ 表面水の処理施設が少ないが緩やかな一定勾配のある園内の水を集め、美しく修景しつつ処理するために設置。
- ・ 特に春先の融雪期に発生する多量の表面水を利用して、一時的に池のような姿を觀賞できるようなレインガーデン型の修景緑化とした。
- ・ 生物多様性に配慮し、石狩中部(札幌地域)の地域性遺伝子をもつ自生種で、湿地でも生育可能な宿根草や樹木のみを選んで、札幌の湿原の景色を再現した。
- ・ 来園者向けの解説板を設置し、雨水浸透緑化の仕組みや自生種について啓発した。

⑤ 写真-3 円山動物園の自然風レインガーデン



平面図



【施工前】



【施工後】



単粒度砕石の2層目を設置



砕石の上に不織布を敷設



春先の雪解け水も集める



水量が増えたと、池の景色となるよう設計